



オンライン

# どうやって集めた？ 130万点の植物標本



(写真) つくば地区にある国立科学博物館植物標本室の内部とたくさんの標本。

国立科学博物館には約485万点の標本・資料が収蔵されていますが、その点数の1/3近くを占める最大のコレクションが「維管束植物」すなわち種子植物とシダ植物の標本です。いつ、誰が、どこで、どうやって130万点もの大量の標本が集めたのか、収集の足跡を紐解くと共に、どうしてそんなにたくさん必要なのかを考えます。

※中学生以上の方を対象とした講座です。

- オンライン会議アプリ Zoom を使用します。アプリのインストールや設定等は各自で行っていただきます。
- 自然教育園に来園して行う集合型講義ではありません

講 師： 国立科学博物館 植物研究部 海老原 淳

日 時： 2021年10月9日(土) 13:30~14:30

定 員： 100名

参加費： 無料

申込み： WEBのみ 先着順。定員になり次第締切。

※ 自然教育園ホームページのイベント欄より、注意事項 をご確認のうえ、お申込みください。

※ 諸情勢により、イベントの内容が変更あるいは中止となる場合があります。

